

前回定例会委員ご質問への回答

柏崎市

自主防災組織の未組織（28組織）の内訳について教えてほしい。

- ・未組織の内訳は10町内会、1コミュニティの11組織となっています。
- ・未組織は、市街地を中心に、高齢化や世帯減少等の要因により、設立が進まないのが現状です。
- ・柏崎市では307が組織（平成26年4月時点では308組織）されていますが、小さな集落（町内会）が、隣接する複数の町内会で一つの自主防災会を結成している事例や、松波地区、荒浜地区のように一町内一コミュニティのため、町内会のみで組織している事例もあるため、市内335組織（304町内会、31コミュニティ）全ての組織数と一致するとは限りません。
- ・補足となりますが、自主防災組織の組織率は、市内の全世帯数に対する自主防災組織を構成する世帯数の割合となっています。

コミュニティの自主防災組織は、複数の町内会の自主防災会で組織されており、有事の際の実効性について、どのように考えているのか。

- ・コミュニティ（又は町内会連合会）で地区自主防災会を組織し、コミュニティセンターを防災活動拠点（災害対策本部や避難所運営委員会等）として、地域防災に関わる各種団体等（「施設管理者、民生児童委員、ボランティア団体等」をいいます。）との連携・協力により、地域の実態に応じた防災・減災の取り組みに期待できます。
- ・25年度に実施した地区防災会議では、災害時の情報伝達・連携体制フローなどを示し、その実効性を高めていくために、効果的な連携体制の構築に努めてまいります。